

雨水タンクの必要性

嶺尾 晏那

「ガーザー」と降る雨。そんなとき、雨
を活用したエコな暮らしはできないのか。と
思う。そんなときに役立つのが雨水タンク。
雨水タンクの活用法をふまえて、設置するメ
リットを紹介していきたい。
雨水は、通常雨を伝って排水される。この
排水される雨水を捨てずに有効活用させる設
備が雨水タンクだ。雨水タンクに集められた
雨水は、庭の花の水やりや屋外での掃除で利
用できるほか、トイレにある配管とつないで
トイレ用水として使うこともできる。雨水を
貯めれば、たくさんさんの活用法が見えてくる。
その雨水を貯める雨水タンクを設置する上で
どんなメリットがあるのか、調べてみた。
雨水タンクを設置するメリットは、大きく
分けて3つある。まずは1つ目。水道代の節
約。一般家庭で使われる水の約4分の1がト

イレの排水である。古いタイプの水洗トイレでは1回で12520L。節水型のトイレでも45Lもの水を消費するといわれている。東京都の場合、年間降水量は約1400mm。仮に屋根の面積が10㎡として、容量200Lの雨水タンクを設置した場合、年間約6ト(6000L)の雨水が使用できる。これをトイレの水として使用すれば300回〜1500回分の水を節約することが可能である。2つ目のメリット。それは、災害時の生活用水として使えるのだ。地震などの災害により断水してしまった場合、緊急時に生活用水として活用することができ、もちろんそのまま飲むことはできないが、浄水器を用意して、浄水すれば非常時の水不足への備えとなるのだ。2011年3月11日に発生した東日本大震災。この地震によって、断水したが雨水タンクに貯めておいた雨水を生活用水として利用していたところも、あるという。3つ目のメリットは、ゲリラ豪雨などの際の床下浸水の予防効果を期待できるのだという。

近年多発しているゲリラ豪雨。局地的な豪雨
による急な増水で河川や下水などから水が溢
れだし、床下浸水するというケースが増えて
いる。こうした洪水の対策として活用できる
のが、雨水タンク。家庭に設置された雨水タ
ンクが小さなダム役割を果たし、降った雨
が一気に下水に流れ込んで、水が溢れるのを
防ぐ役割をしている。

このように雨水タンクを設置することで、
水道水の代わりに雨水を利用し、水道代が節
約できるほかにも、自然災害で生活用水として
使えることもできる。それだけではない。雨
水タンクを設置してから「雨の日が待ち遠し
くなったりなど心の変化がでてくるのだ。心
に変化がでてくると、体の態度も変わってく
るはずだ。これからの日本は、温暖化の影響
で自然災害がどんどんひどくなる。だから、
各家庭に雨水タンクを設置するべきだと思っ